

教職員の多忙化改善に向けて

本県の「教職員勤務時間調査結果」の概要

(平成29年度上半期(4月～9月)の教職員勤務時間調査結果より)

○教職員の時間外勤務の実態

- ・小学校 月平均47.0時間(月80時間超が13.6%)
- ・中学校 月平均74.2時間(月80時間超が42.9%)
- ・全日制高校 月平均53.1時間(月80時間超が18.7%)

○勤務実態のおもな傾向

- ・校種別 特に中学校の教員が長時間勤務
- ・職種別 教頭・主幹教諭等の中間管理職等が長時間勤務
- ・年齢別 年代が低いほど長時間勤務となっており、特に中学校、高校では部活動指導の時間がその原因

詳しくは、石川県教育委員会のホームページをご覧ください。

<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kyoiku/kyousyoku/kinmujikantyouusa.html>

国において議論されている「学校における働き方改革」の考え方



膨大になってしまった学校及び教師の業務の範囲を明確にし、限られた時間の中で、教師の専門性を生かしつつ、児童生徒に接する時間を十分確保し、児童生徒に真に必要な総合的な指導を持続的に行うことのできる状況を作り出すことが「学校における働き方改革」の目指すところである。

「学校における働き方改革」の実現により、教師は「魅力ある仕事」であることが再認識され、教師自身も誇りを持って働くことができるようになり、それがひいては児童生徒の教育にも良い影響として還元されるものと考えられる。

(中教審「学校における働き方改革に関する総合的な方策(中間まとめ)」H29年12月より)

本県の取組

学校における働き方改革が国等において議論されているところであり、本県でも、県教育委員会・市町教育委員会・校長会・体育連盟などの関係団体の代表者からなる「教職員多忙化改善推進協議会」を設置し、多忙化改善に向けた取組方針を取りまとめるべく、協議を続けています。

協議会では、関係者が問題意識を共有し足並みを揃えて取組を実行していくことや教職員の定数改善を国に対して強く求めていくこと、さらに、保護者や地域の方々の理解と協力を得ながら取組を進めることが不可欠であるという意見もあり、こうした意見を踏まえ、取組方針を今年度末を目途にまとめ、来年度から実行に移していきます。



企画展

「石灰岩とろの一部になった生き物たち」

建造物の石材やセメントの原料として使われるなど、我々にはなじみのある石灰岩ですが、その形成は地球の環境そのものに影響を与えるほどの大きな役割を担っています。今回の企画展では、石灰岩の重要性について解説し、その中に残された化石を、同類の現生物とともに展示します。

ただいま開催中

入場無料

開催期間：
平成30年
1月6日(土)～6月3日(日)
9:00～17:00
(入館は16:30まで)

会場：石川県立自然史資料館
2F企画展示室

お問い合わせ：
石川県立自然史資料館
TEL 076-229-3450



四射サンゴ



ウミユリ

教育

たいあつぷ

No.42
2018
2月



いしかわ教育の日 シンボルマーク
発行・編集/石川県教育委員会
金沢市鞍月1-1
TEL (076) 225-1811
<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kyoiku/index.html>

専門高校等で企業や大学等と連携した先進的・実践的な取組を実施

石川県教育委員会では、今年度より、企業・大学等の外部機関と連携・協力して、地域社会を担う専門的「職業人」の育成を目指す取組を始め、職業に関する専門教育を行う県立高等学校(専門学科、総合学科を有する高校)11校を対象に先進的・実践的な取組を実施しています。

各校で取り組んだ学習の成果は、平成29年12月10日に県産業展示館で開催された「いしかわ産業教育フェア2017」において、発表されました。



学習成果発表

産学連携ブース

翠星高校

「GAP認証取得を目指す」

農業



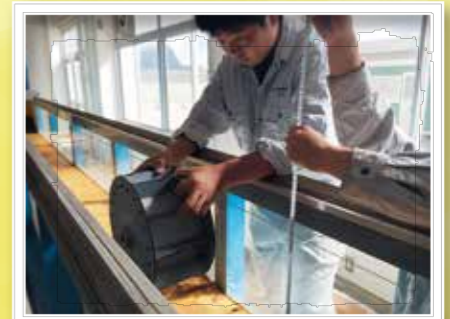
GAPに関する技術講習

農産物の安全性を証明するGAP(農業生産工程管理)の認証取得を見据え、農業法人や県農林水産部と連携して、学校農場や実習内容の改善に取り組みました。

羽咋工業高校

「小水力発電機の製作」

工業



小水力発電機の部品の性能実験

ものづくり企業から高度な技術を学び、大学・高等専門学校と連携しながら、小水力発電の研究と試作機の製作を通じて、環境問題への関心を高めるとともに、専門的技術力の向上を目指しました。

小松商業高校

「Webマーケティングを活用した観光客の誘客」

商業



石の文化の現地調査

小松市の観光資源を調査し、外国人や県外からの観光客を誘客するための、Webによる双方向的なコミュニケーション(Webマーケティング)を目指し、Webページの作成等に取り組みました。

田鶴浜高校

「地域における認知症に対する理解促進活動」

福祉



認知症カフェでの活動

認知症カフェにおいて、利用者に対するハンドケアやフットケア等の活動を通じてコミュニケーションを図るとともに、認知症予防体操の紹介、講座等を実施することにより、認知症への理解を深め、地域福祉のあり方について学びました。

小・中学校の

学習指導要領が 新しくなります

学習指導要領とは？

全国のどの学校で教育を受けても、一定の水準の教育を受けられるようにするため、文部科学省が定めた、教科書や学校での学習内容の基準のことです。

新学習指導要領にいつから変わるの？

移行期間を経て、
小学校は2020年度より、
中学校は2021年度より
全面実施となります。

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
小学校		移行期間	全面実施	全面実施	全面実施
中学校			移行期間	全面実施	全面実施

特別支援学校学習指導要領（幼稚園及び小学部・中学部）についても、同様

新学習指導要領のポイント

新学習指導要領の基本的な考え方

- 子どもたちが未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成。その際、子どもたちに求められる資質・能力とは何かを社会と共有し、連携する「社会に開かれた教育課程」を重視。
- 知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力等の育成のバランスを重視する現行学習指導要領の枠組みや教育内容を維持した上で、知識の理解の質をさらに高め、確かな学力を育成。
- 道徳教育の充実や体験活動の重視、体育・健康に関する指導の充実により、豊かな心や健やかな体を育成。



今回変更となる主な内容

外国語教育の充実

小学校

現行

5・6年生
「外国語活動」
年間35時間（週1時間）
の授業

新

3・4年生 …「外国語活動」が始まります。
（2018～19年度）年間15時間以上の授業
（2020年度～）年間35時間の授業
5・6年生 …「外国語科」の教科になります
（2018～19年度）年間50時間以上の授業
（2020年度～）年間70時間の授業

中学校

授業は英語で行うことを基本とし、これまで以上に、生徒のコミュニケーション活動の充実を図ります。

道徳教育の充実

- 小学校では2018年度から、中学校では2019年度から、「特別の教科」として新たに位置付け、道徳教育の充実を図ります。
- 答えが1つではない道徳的な課題に一人一人の児童生徒が向き合い、考え、議論する道徳への転換を図ります。
- 評価は、他の児童生徒との比較による評価ではなく、個々の児童生徒の「学習状況や道徳性に係る成長の様子」を数値等ではなく、記述式で行います。

プログラミング教育の実施

- 各教科の授業の中で、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けるための学習活動を実施します。
例) 理科の授業で、身近にある電気製品にはプログラムが活用され、様々な条件に応じて動作していることを学ぶ

主体的・対話的で深い学びの実現

「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行うことで、学校教育における質の高い学びを実現し、学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的（アクティブ）に学び続けるようにすること。

主体的な学び

学ぶことに興味や関心を持ち、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる学び

対話的な学び

子ども同士の協働、教員や地域の人との対話等を通じ、自己の考えを広め深める学び

深い学び

習得・活用・探究という学びの中で、各教科等の「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、問題を見いだして解決策を考えたりする学び



新学習指導要領

Q&A



Q

「外国語活動」と「外国語科」の違いは何ですか？

A

「外国語活動」は、外国語を聞いたり、話したりすることにより、外国語に慣れ親しみ、外国語学習への動機づけを高めるための活動で、「外国語科」は、それに文字を読んだり、書いたりする学習を加えた教科です。

Q

「特別の教科」は「教科」と何が違うのですか？

A

検定教科書を用いるのは他の教科と同様ですが、「特別の教科」では、専門免許を有した教員ではなく、原則として学級担任が授業をし、評価は数値等ではなく、記述式で行うところが異なります。

